

## 報告書

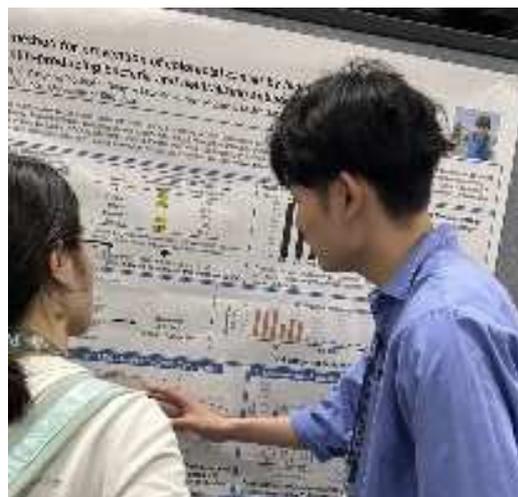
### Pacificchem 2025 にてポスター発表

12月15日から20日にかけて、ハワイで開催された国際学会「Pacificchem 2025」に参加しました。本学会には、生合成分野をはじめとする様々な分野の研究者が世界中から集まり、国境や専門分野の垣根を越えた活発な議論が行われていました。

私は生合成分野において、腸内細菌が産生する遺伝毒性物質コリバクチンに関する研究についてポスター発表を行いました。コリバクチンは哺乳類細胞にDNA損傷を引き起こし、大腸がんとの関連が強く示唆されている物質であり、その検出および産生菌の除菌は大腸がん予防の観点から重要であると考えられています。

本研究では、コリバクチン産生菌を選択的に検出・除去することを目的として、産生菌に特異的に結合するモノクローナル抗体の作製に取り組みました。その結果、コリバクチン産生大腸菌に特異的に結合する抗体を獲得し、これらの抗体が産生菌の除菌に応用可能であることを示しました。さらに、抗体に抗菌活性を付与したADCを用いることで、高い選択性を持ってコリバクチン産生菌を除去できる可能性を明らかにしました。

学会期間中は、英語での研究発表および質疑応答を通じて、語学力や研究内容の理解を深める貴重な機会となりました。異なる分野の研究者から多角的な視点で質問や意見をいただき、海外学会ならではの活発な議論の重要性を実感しました。今回の経験を今後の研究活動に活かし、より一層研究の発展と国際的な発信力の向上に努めていきたいと考えています。大学院学生国際学会発表支援事業に感謝申し上げます。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻  
博士前期課程1年 生薬学研究室  
新貝 龍旦